

2013年4月1日

## 産学の技術を結集し日本独自の次世代核酸医薬の開発を目指す バイオベンチャーへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：能見公一）は、日本独自の技術を基に核酸医薬の開発を目指す株式会社アクアセラピューティクス（以下「アクアセラピューティクス」）の第三者割当増資を引受け、今後の医薬品開発の初期段階に必要な資金として4.5億円の投資を行うことを決定しました。

また、アクアセラピューティクスは、ひびしんキャピタル株式会社（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：八山哲夫）の運用するファンドに対しても第三者割当増資を行う予定です。

本件の概要については、「別添」のとおりです。

核酸医薬は、従来の低分子医薬品、抗体医薬品など異なる画期的な医薬品として、世界各国で開発が進められております。しかしながら、核酸医薬は安定性や薬物動態の制御（DDS 技術）などが課題となっており、上市に至った事例はごく限られております。アクアセラピューティクスは日本独自の技術を使用し、核酸医薬の持つ課題を解決しうる次世代核酸医薬の開発を産・学・官と協同し実施いたします。

アクアセラピューティクスは、核酸化学に強い技術基盤を持つ株式会社ボナック（本社：福岡県久留米市、代表取締役社長：林宏剛）が独自に開発したプラットフォームを用い、これまで有効な治療薬がなかった疾患に対する核酸医薬の開発を推進します。その第一歩として、様々な病態に関与することが知られているペリオスチン<sup>※1</sup>をターゲットとして、アンメットメディカルニーズが高い疾患に対する新しい治療薬の提供を目指し、核酸医薬の研究開発を日本及び米国で実施いたします。

アクアセラピューティクスの主要経営メンバーは、代表取締役の吉川寿徳氏をはじめとして、日系の大手製薬企業において医薬品開発の経験を豊富に有しております。また、アクアセラピューティクスは、九州大学、東京医科大学、佐賀大学等と協同する研究開発体制を既に構築しており、今後、産業革新機構及び共同投資家が出資する開発資金の活用により開発の加速を目指します。

オープンイノベーションを通じた医薬品の創出を目指す INCJ は、アクアセラピューティクスに対して、リードインベスターとして必要資金を提供するとともに、社外取締役の派遣、サイエンスアドバイザーの派遣や業務体制の構築等の経営面でのサポ

ートを行います。また、独立行政法人科学技術振興機構（JST）も A-STEP<sup>※2</sup>を通してアクアセラピューティクスに対して支援を実施いたします。

本投資は、我が国の産・学・官が密接に連携し日本独自の次世代核酸医薬を開発するオープンイノベーションの具現化を目指すものです。更に、日本のバイオベンチャーに対する資金供給の呼び水とし、日本の創薬の活性化を目指します。

※1 ペリオスチンは、細胞の接着、遊走、増殖などに関与する細胞外マトリクス蛋白であることが知られており、九州大学における研究により糖尿病網膜症治療の新しい分子標的となる可能性が示されています。また、佐賀大学の研究では、ペリオスチンがアトピー性皮膚炎の慢性化の原因となっていることが明らかになっています。

※2 A-STEP は、JST が実施するプログラムであり、国民経済上重要な科学技術に関する大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基にした実用化を目指すための研究開発フェーズを対象とした技術移転の支援を実施します。

### **株式会社アクアセラピューティクスについて**

|       |                  |
|-------|------------------|
| 設立    | 2012年3月          |
| 事業内容  | 次世代核酸医薬品の研究開発    |
| 本社所在地 | 福岡県福岡市博多区        |
| 代表取締役 | 吉川 寿徳（よしかわ かずのり） |

### **株式会社産業革新機構（INCJ）について**

INCJ は、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計37件・総額約6000億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資

を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整室 小林・市原・望月・畑

東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビルディング21階

電話：03-5218-7200 (大代表)